

岡山県立図書館第4次中期サービス目標
目標達成度評価シート＜令和3年度＞

＜5つの基本的性格＞

（1）県民に開かれた図書館

基本指標		令和3年度実績
来館者数	平成28～令和元年度実績平均：998,190人	706,013人
個人貸出冊数	平成28～令和元年度実績平均：1,418,749冊	1,102,003冊
登録者数	令和元年度末累計：279,734人	292,267人
登録率（人口100人当たり）	令和元年度末：14.6人	15.5人
来館者アンケート利用者満足度	令和元年度：94.4%	94.5%

○資料・情報の提供

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①来館者サービスの向上</p> <p>豊富な蔵書を基盤に、企画展示、レファレンスサービス、講座等を行い、来館者と資料を結ぶ積極的働きかけを行います。案内表示、サイン、検索端末の利用環境等の整備を進めるとともに、施設・設備の点検、修理を計画的に行い、安心かつ快適な環境で利用できるよう努めます。引き続きキャンペーン等を通して利用者の自発的なマナー向上を働きかけます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により、5月13日から6月20日まで、8月27日から9月30日まで部分休館した。休館中は入館制限を行い、各種イベントを中止するなど、利用者サービスを制限することになった。 感染症対策の一環として、体温測定機や、新聞コーナーに新たにアクリルパネルを設置し、利用者が安心かつ快適な環境で利用できるよう努めた。 平成24年度に開始したマナーアップキャンペーンを継続実施し、利用者マナー向上を図った。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を図りつつ、より多くの県民に来館され、快適に利用していただけるよう、利便性の向上と利用環境の改善に努める。
<p>②ユニバーサルデザインの視点に立ったサービス</p> <p>誰にでも使いやすいように蔵書検索システムの機能の充実を図ります。またウェブアクセシビリティ規格に配慮し、ウェブコンテンツの更なる改善を進めます。</p> <p>障害のある方の読書環境の整備を目指した「読書バリアフリー法」の理念を踏まえ、対面朗読のオンライン化について検討します。また、障害者サービス等において県内公共図書館や関係機関との連携の一層の強化を進め、全県的に効果的なサービス展開を図ります。</p> <p>多文化サービスについては、利用者ニーズの把握に努め、利用を促進します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 当館所蔵資料に加え、録音図書などを提供するネットワーク「サビエ図書館」を活用した資料提供を行った。 感染症対策を行った上で、対面朗読サービスを提供した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上記臨時休館、部分休館時に、対面朗読サービスの提供を停止した。 特別支援学校の教員が見学の下見に来館された際に、障害者サービスや県立図書館の利用方法を説明した。 「読書バリアフリー法」の理念を踏まえ、「岡山県読書バリアフリー計画」の策定において、全県的に効果的なサービス展開を目指し、県内の関係機関とともに内容を検討した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰にでも使いやすい利用環境の改善とともに、各種サービスを有効に活用いただけるよう周知に努める。

<p>③非来館型サービスの向上</p> <p>全県域へのサービス提供の拡大のため、引き続き県内公共図書館等の協力を得ながら、各館での岡山県立図書館利用者登録、インターネット予約サービスや資料相互返却サービスを推進します。音楽配信サービスやオンラインレファレンス等の非来館サービスの利便性を周知します。</p> <p>外部環境の大きな変化や利用者ニーズを踏まえ、返却ポストの増設や郵送による資料の貸出サービスの拡充、電子書籍の導入を検討します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 当館資料のインターネット予約の他館受渡冊数が82,288件（R2:71,520件）と高い水準を維持し、引き続き非来館者の利便性向上に寄与している。 予約資料の受け取りのみ可能とした入館制限を行ったことから、インターネット予約の利便性が浸透した。インターネット予約274,287件（R2:210,923件） 県内公共図書館の協力を得て、現在26市町村の54施設で県立図書館の利用者登録の受け付けが可能となっている。 岡山県にまん延防止等重点措置が適用されたことに伴い、外出を控えている方等への郵送貸出サービスを試行した。（送料は利用者負担。） <p>〈申し込み受付期間〉</p> <p>第1回 令和3年6月8日（火）～17日（木）</p> <p>第2回 令和3年8月20日（金）～9月29日（水）</p> <p>第3回 令和4年1月27日（木）～3月3日（木）</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約資料を市町村立図書館等で受け取れる他館受渡しは、他館の協力が不可欠である。当館にとっては利用者の利便性向上につながるとともに、他館にとっては、来館を呼びかけるきっかけとなることから、引き続き他館と協力を図っていくことが重要である。
<p>【指標】 インターネット予約貸出比率：毎年度個人貸出冊数の15%以上</p>	<p>【指標】 インターネット予約貸出比率：24.9% (R2:18.4%)</p>

○県民参加による図書館づくり

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>④公聴広報活動の推進</p> <p>公聴活動については、既存の取組のほか、未利用者や非来館者の意見聴取の方法を検討します。広報活動については、報道機関への積極的な情報提供など既存の取組を徹底していくほか、SNSを活用して、時宜を得た広報や、県内公共図書館、岡山カルチャーゾーン構成施設等の行事に合わせて利用案内などを行い、利用拡大を図ります。なお、有料貸出施設について、県民の生涯学習活動に活用してもらえるよう、広報による利用拡大を図ります。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山シンフォニーホールと連携したライブラリーコンサートや県立記録資料館で開催中の展示と連携した展示を行った。また、見学で来館した小中学校等にイベントチラシを配付して、利用拡大を図った。 SNS（Facebook、twitter）を活用し、毎日情報発信に努めた。 バックヤードツアーのコース内で有料貸出施設を紹介するとともに、参加者にSNS発信を呼びかけるなど利用拡大に努めた。 全庁共通システムを利用してアンケートを行い、県職員から図書館利用についての意見を聴取した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSを活用し、タイムリーな情報発信を行うとともに当館イベントの参加者などにも情報発信を促し、フォロワー数の増加を図る必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大などの緊急事態で休館になった場合など、利用者が求める情報を積極的かつ速やかに発信必要がある。
<p>【指標】 ツイッターのフォロワー数を最終年度に3,000人にする。</p>	<p>【指標】 ツイッターフォロワー数：2,311人 (R2.6現在1,562人)</p>

<p>⑤図書館の魅力を伝えるイベントの開催</p> <p>岡山県立図書館の魅力を伝える「県立図書館フェスタ」や、「県立図書館とことん活用講座」など時節に応じた多彩な催し、資料・情報の提供につながるイベントを、様々な主体とも連携しながら実施します。</p>	<p>[主な成果]</p> <p>「県立図書館フェスタ」や、主題別6部門ごとに企画する「とことん活用講座」等主催事業のほか、次のようなイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放送大学岡山学習センター、岡山県生涯学習センター、岡山県古代吉備文化財センターとの連携による公開講座 おかやまインキュベータ協議会等との連携によるビジネス支援イベント <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 他機関や学校等と連携し、普段図書館を利用しない層が参加するイベントの企画・実施を図り、来館を促す必要がある。
<p>⑥県民との協働の推進</p> <p>ボランティアの受入れ及び研修による資質能力向上を図ります。また、学習成果を発揮する場やボランティア同士の交流機会を提供します。読書グループや読書ボランティアの調査結果等を基に、地域における読書ボランティアの養成に際して、講師紹介や助言等による支援を行います。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 当館の新規登録ボランティアを対象に養成講座を実施したほか、他館も含め広く図書館ボランティアを対象としてスキルアップ講座を開催するとともに、他館からの要請を受け講師の紹介や助言を行った。 講座（障害者利用支援コース）の後に情報交換の時間を設け、ボランティア同士の交流の場を提供した。 「岡山県内読書グループ・読書関係ボランティア調査」（隔年）を実施し、とりまとめ結果を公表した。
<p>⑦郷土資料の寄贈受入及び郷土情報募集事業の推進</p> <p>県民の参加意識を高めることによって、取組を積極的に進め、価値ある郷土資料・情報の提供につなげます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民等から郷土資料3,712点の寄贈を受け入れた。また、郷土情報募集事業では、動画、校歌など、県民や学校から提供のあったコンテンツ10点、また県及び市町村から提供のあった行政資料176点を登録し、ホームページ上で公開した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村や県民の協力も得ながら、郷土資料の網羅的収集を継続していくことが重要である。

評価

<p>令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、来館者数は年度途中に開館した初年度を除いて過去最小となった。また、個人貸出冊数の減少幅は比較的抑えられているが、開館年度を除いて過去2番目に少ない結果となった。しかし、利用者アンケートでは前年度に引き続き高い満足度を得ることができた。このほか、インターネット予約貸出冊数は、部分休館中も予約者への貸出を続けたこともあり、目標を大きく上回り過去最多となった。</p>	<p style="text-align: center;">4</p> <p><達成レベル></p> <p>5：目標を大きく上回る 4：目標を上回る 3：概ね目標水準 2：目標を下回る 1：目標を大きく下回る</p>
--	--

(2) 県域の中核となる図書館

基本指標	令和3年度実績
協力レファレンス件数 平成28～令和元年度実績平均： 1,057件	979件

○県内公共図書館の振興

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①県内公共図書館への支援の推進</p> <p>全県的な図書館サービスの拡充に向け、既存の支援事業に引き続き取り組みます。具体的には、市町村図書館等への協力貸出し、支援用図書の実質、協力レファレンスなどサービス支援を推進していくとともに、日常的な図書館運営に関する様々な相談に対応し、情報交換できる環境を整備します。その一環として、公共図書館協議会や協力担当者会、全自治体への巡回相談を継続して実施し、各館の現状や課題を把握して情報の提供や助言を行います。これにより、「第3次岡山県教育振興基本計画」5・生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興に寄与します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用マナーに関するトラブルが問題となっていることから、県内図書館に呼びかけ「マナーアップキャンペーン」を統一イベントとして実施した。 ・館長、担当者を対象とした会議や研修会（オンライン開催を含む。）、図書館協力ニュースの発行、巡回相談等を通して、情報交換・提供、助言を行った。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、未設置自治体（1村）への設置、既設置自治体への地区館設置など、図書館サービス空白地帯の解消に向け、情報提供や助言等必要な支援を行う。 ・県立図書館が実施した資料展示をパッケージ化し、提供するなどにより、市町村立図書館の利用者に協力貸出の周知を図る必要がある。
<p>【指標】 県内公共図書館への協力貸出 最終年度に40,000冊以上</p> <p>【指標】 巡回相談実施延件数 毎年度75件以上</p>	<p>【指標】 県内公共図書館への協力貸出冊数：31,937冊（R2：32,307冊）</p> <p>【指標】 巡回相談実施延件数：73件（R2：73件）</p>
<p>②図書館に関する調査とその公表の推進</p> <p>県内公共図書館調査等の定例の取組を推進するとともに、「災害に関連する図書館の取組状況調査」などニーズや重要性を見極めたきめ細かい調査を行い、県内公共図書館のサービス向上等に役立てます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口規模別に県内公共図書館と全国の図書館のサービス目標を比較した「自治体別指標」を取りまとめ、各館の計画策や予算要求等に活用された。 ・指定管理者制度、障害者サービスなど調査を行い、結果を提供した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に関する各館の対応状況について、Webサービスを利用しリアルタイムに情報提供できる環境を整備した。

○図書館職員の資質能力の向上

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>③図書館職員研修の充実</p> <p>研修については、より実践的な内容とし、研修実施後、内容を県内公共図書館等に情報提供し共有できるよう配慮します。また、講師派遣制度の充実とともに、研修を受けた市町村職員自身が講師を務めるよう促し、県全体の図書館職員の資質能力向上を図ります。さらに、研修の機会を確保するためインターネットを利用した遠隔研修を検討します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員研修では、オンライン開催や事後の動画配信を行うなど、感染対策と研修機会の確保を両立させ、受講者からも概ね高い満足度を得ることができた。また、要請を受け市町村立図書館の研修に講師を3回派遣した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内図書館では、開館日数の増加や時間延長、非正規雇用が進む中、職員のスキルの維持・向上に必要な研修機会の確保が課題である。
<p>④岡山県立図書館職員の専門性の向上</p> <p>県域の公共図書館の支援を行うという広い視野に立ってグループ研究に取り組み、その成果は館内研修等で共有し、日常業務の改善や講師派遣制度に活用します。また、国立国会図書館の遠隔研修の活用など研修形態のあり方を検討していきます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つのグループを組織し、テーマに沿って研究を進めた。研究で得られた成果は、年度末の館内職員研修で活動報告を発表し共有するとともに、図書館職員等研修講座で講義を行った。また、県内公共図書館等への講師派遣事業に生かすことができた。

○図書館ネットワークの拡充・強化

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>⑤県内図書館等とのネットワークの推進</p> <p>県内公共図書館等既存の参加館と協力しながら安定的なネットワークを維持するとともに、大学図書館等との連携の拡大を図ります。また、「岡山連携中枢都市圏図書館相互利用」などの地域の広域ネットワークの動向を注視していきます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内公共図書館等を接続する横断検索システムによる蔵書検索件数が123万件（R2：121万件）を超え、多くの方に利用されている。 ・県内公共図書館、大学図書館等37施設に週2回、学校図書館等112施設に週1回の資料搬送を行った。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況の中、物流コストの高騰が大きな課題となっており、効率的な配送に努める必要がある。 ・横断検索システムへの接続ができていない大学図書館に対し、説明や働きかけを行い、ネットワークの拡充を図る必要がある。
<p>⑥県外図書館等とのネットワークの推進</p> <p>新しい技術動向に対応しつつ、全国的ネットワークの地域拠点機能を果たし、県外図書館等との協力関係を維持します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館のレファレンス協同データベース事業に登録し、累計登録件数は3,587件となった。平成20年度以降13年連続で国立国会図書館長から感謝状を受けた。

評価

<p>新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、県内公共図書館への協力貸出冊数は目標を下回ったが、協力レファレンス件数及び、巡回相談実施延件数については、概ね目標水準であった。</p>	<p>3</p>
	<p><達成レベル></p> <p>5：目標を大きく上回る</p> <p>4：目標を上回る</p> <p>3：概ね目標水準</p> <p>2：目標を下回る</p> <p>1：目標を大きく下回る</p>

(3) 調査・研究センターとしての図書館

基本指標	令和3年度実績
レファレンス件数 平成28～令和元年度実績平均：86,098件	77,074件

○主題別6部門制による調査・研究支援

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①レファレンスの充実</p> <p>主題別6部門制に基づく専門性の高いレファレンスを行い、レファレンスデータベースへ登録するほか、レファレンスツールとしてのブックリスト、調べ方案内（パスファインダー）等の作成・更新に取り組み、県民の調査・研究に役立てます。提供に当たっては、利便性の向上に努めます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスデータベースに180件を登録した。 ・各部門のテーマ展示や関係機関との連携展示に合わせて、ブックリストを作成し、ホームページ上で公開した。
<p>【指標】レファレンス事例の公開件数 毎年度180件以上</p>	<p>【指標】レファレンス事例の公開件数：180件（R2：185件）</p>
<p>②関係機関と連携した調査・研究支援の充実</p> <p>利用者に関係専門機関をつなぐレフェラルサービスの充実を図ります。特に、重点収集</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部門において、年間を通じ、関係機関の協力も得ながら、利用者の興味・関心を引く展示等を行った。

資料である交通文化資料については、関係機関の協力も得ながら魅力ある企画展示を行ったり、二次資料の作成を進めるなど、岡山県立図書館の特色として今後も情報発信を続けます。	・交通展示について、県トラック協会と連携し、県内の小学生が描いた「私たちの未来のトラック」の絵の優秀作品や関連資料の展示を行った。
---	---

○課題解決支援機能の充実

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>③ビジネス支援の充実</p> <p>地域産業を担う方、多様な業種の専門家、創業・起業を考える方、キャリアアップを目指す方、就職を考える方に、豊富な蔵書を基盤にデータベース等のデジタル情報も活用した支援を継続します。また、関係する県庁各部署等との連携をより深め、セミナー等のイベント開催やビジネスに役立つ情報提供を推進します。これらの取組を通して「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」・重点戦略Ⅱ・地域を支える産業の振興に寄与します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、創業相談会（県産業振興財団）、高校生ビジネスプラン作成講座（日本政策金融公庫）を開催した。ホームページの情報を見直し、充実を図った。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン実施となるイベントが増加する中で、県立図書館の持つ機能をより有効に活用できるように、各機関と連携・協働を図りながら、オンラインでの情報提供を充実させていく必要がある。
<p>④身近な課題解決支援の充実</p> <p>二次資料の作成・配布等によって、利用者自らによる課題解決を促進します。また、主催講座、連携講座、企画展示、連携展示等を通してニーズを踏まえた課題解決支援を行うとともに、積極的な情報発信により、未利用者にも岡山県立図書館を身近な存在として認知してもらえるよう取り組みます。以上の取組を通して「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」・重点戦略Ⅲ・安心して豊かさが実感できる地域の創造に寄与します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階エントランスにレファレンスを周知するチラシを設置するとともに、企画展示や連携展示・講座などでのブックリスト配布やリストをホームページで公開し、課題解決のための情報提供を行った。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が生涯を通して自ら課題解決につながる図書館活用を進められるよう、調査スキルの向上に役立つ講座や動画などによる情報発信が求められる。加えて学校における課題解決学習(PBL)への支援の拡充が課題である。
<p>【指標】 ホームページ上で公開したブックリストの作成件数：毎年度150件以上</p>	<p>【指標】 ホームページ上で公開したブックリストの作成件数：138件（R2：141件）</p>

○児童図書研究室の活用

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①新刊児童図書及び児童図書研究書収集の促進</p> <p>新刊児童図書の全点購入や児童図書研究書の積極的収集を継続し、子ども読書活動推進センターとしての機能の一層の充実を図ります。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊児童図書の全点購入や児童図書研究書の積極的収集を図った。またそれらの資料を活用した研修講座を、市町村立図書館職員、学校図書館職員及びボランティアに実施し、巡回展示や協力貸出、児童図書研究だよりの発行を通して、子どもの読書に関わる方へ情報提供を行った。

評価

<p>レファレンス件数は、部分休館の影響もあり、77,074件と昨年度78,703件と比較し、減少しているが、レファレンスデータベース登録数は目標を達成した。また、ホームページ上で公開したブックリストの作成件数は、概ね目標水準であった。</p>	<p style="text-align: center;">3</p> <p><達成レベル> 5：目標を大きく上回る 4：目標を上回る 3：概ね目標水準 2：目標を下回る 1：目標を大きく下回る</p>
--	--

(4) デジタルネットワークに対応する図書館

○デジタル岡山大百科の充実

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①郷土情報ネットワークの充実と利用促進 郷土情報募集事業や関係機関との連携強化等を通して、価値ある郷土情報の蓄積に努め、活用方法を広報します。デジタル化に当たってはメディア工房支援ボランティアと協働で進めます。デジタルコンテンツの活用に当たっては、広く一般の方に利用されるようオープンデータ化を検討します。</p>	<p>[主な成果] ・「岡山繁昌記 初編」、「山陽新報発行広告」など、当館のみが所蔵する郷土資料を中心にデジタル化し、26点を「郷土情報ネットワーク」に登録した。</p> <p>[課題] ・デジタルコンテンツのオープン化については、利用者の利便性等を考慮し、早期に検討していく必要がある。 ・デジタル岡山大百科について、国内の多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるジャパンサーチへの接続を進める必要がある。</p>
<p>②レファレンスデータベースの充実 県内公共図書館等と連携し、レファレンス事例の一層の充実を図ります。また、効率的な運営を目指し、図書館業務システムのレファレンス機能や国立国会図書館のレファレンス協同データベースの活用方法を検討します。</p>	<p>[主な成果] ・レファレンスデータベースに180件を登録した。</p>

○デジタルネットワークの活用

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>③外部から導入して提供するデータベースサービス等の利用促進 直接来館することによってはじめて利用できるデータベースサービスについて講座などを利用して周知し、利用促進を図ります。</p>	<p>[主な成果] ・新型コロナウイルス感染対策のため外部講師を招いてのオンラインデータベース活用講座は昨年度に引き続き中止した。 ・7月から情報サービス支援ボランティアの活動を再開した。「情報コンシェルジュ」をスタートして、ボランティア在席時なら事前予約不要でデータベースやタブレット端末利用の補助等を行った。 ・情報サービス支援ボランティアによる情報活用支援講座及び職員がサポートして県職員限定のデータベース体験会を行った。</p> <p>[課題] ・データベース利用促進のため、体験会や活用講座といった機会や、ボランティアの活動を通してデータベースの利用を広報、サポートしていく必要がある。</p>
<p>【指標】 外部から導入して提供するデータベースサービス等の利用者数 毎年度 1,800人以上</p>	<p>【指標】 外部から導入して提供するデータベースサービス等の利用者数：936人（R2：1,389人）</p>

<p>④サピエ図書館等の活用の推進</p> <p>サピエ図書館の活用を一層進めるとともに、県内公共図書館へノウハウを提供しながら、全県域での障害者サービスを充実させます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サピエ図書館から様々な音声データをダウンロードし、録音図書（デジタル図書等）の貸出しを行った。希望する利用者には、携帯版録音図書再生機器とともに貸し出した。 ・障害者サービスに関し、県内公共図書館、関係機関等の問い合わせに対して、助言や情報提供を行った。
<p>【指標】サピエ図書館データのダウンロード点数：最終年度に5,000点以上</p>	<p>【指標】サピエ図書館データのダウンロード点数：4,694点（R2：4,900点）</p>
<p>⑤電子書籍サービスの導入</p> <p>電子書籍サービスの導入については、公共図書館向けコンテンツ数の不足や費用において課題はあるものの、情報端末の普及や教育の情報化、読書バリアフリー法の施行、さらには新型コロナ等感染症の流行など外部環境が大きく変化してきており、導入に向けて収集基準の見直しなど具体的方策を検討します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍サービスに関して国内の導入状況や近隣各県の導入後の利用状況等について情報収集を行った。 ・タブレット端末の利用補助等のために7月から情報サービス支援ボランティアの活動として「情報コンシェルジュ」をスタートした。 ・情報サービス支援ボランティアによる情報活用支援講座として「タブレット入門」など3回開催した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依然として公共図書館向けコンテンツ数の不足や費用などが課題であり、環境の変化を注意深く見極めつつ、引き続き検討していく必要がある。 ・タブレット端末に不慣れな方への支援は引き続き必要である。

評価

<p>外部から導入して提供するデータベースサービス等の利用者数は、部分休館等による来館者数の減少により目標を下回ったが、サピエ図書館データのダウンロード点数については、概ね目標水準であった。</p>	<p style="text-align: center;">3</p> <p><達成レベル></p> <p>5：目標を大きく上回る 4：目標を上回る 3：概ね目標水準 2：目標を下回る 1：目標を大きく下回る</p>
---	--

(5) 資料保存センターとしての図書館

基本指標	令和3年度実績
<p>新刊図書の購入冊数 平成28～令和元年度実績平均（1億円に割り戻し）：29,363冊</p>	<p style="text-align: center;">22,811冊</p>

○資料の収集

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①新刊図書の効率的な収集</p> <p>県民及び県内図書館からの高度化、多様化する資料要求に応えられるように、新刊図書の効果的な収集と、効率的な予算執行に努めます。また、引き続き、資料購入費の確保に努めるとともに、雑誌スポンサー制度やふるさと納税制度を活用し、資料収集に活かします。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度より資料整備費が2500万円減額となったことにより、資料収集基準に基づき、効率的な予算執行に努めたが、令和3年度の新刊図書収集率は35.8%となり、令和2年度の48.0%から大きく減少した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者ニーズを踏まえながら、市町村立図書館での購入が難しい資料など、県立図書館として所蔵すべき資料の収集に努める。

<p>②郷土資料の収集の促進</p> <p>郷土資料の収集については、量的充実と合わせ、未所蔵資料の遡及収集に積極的に取り組みます。購入や寄贈のほか、資料の必要性に応じて、他館所蔵資料の複製やデジタル媒体の印刷製本等の柔軟な方法で収集します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在発行されている郷土資料については、県内市町村に協力を求めるとともに、雑誌や新聞記事等の出版情報を基に積極的に収集した。 ・古書については、古書目録や古本市、インターネット等の情報を得て効果的な選定に努めた。 ・行政資料を中心に、デジタルデータでしか入手できないものについては、プリントアウト・製本して資料化した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の網羅的収集を継続していくことが必要である。
<p>【指標】 自館で複製した郷土資料受入れ数：毎年度50点以上</p>	<p>【指標】 自館で複製した郷土資料受入れ数：228点（R2：96点）</p>

○資料の保存

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>③地域の資料保存センター機能の充実</p> <p>地域の資料保存センターとしての機能を果たすため、受入資料については原則として永年保存します。また、県内公共図書館等の移管資料の受入れを行うとともに、寄贈資料の円滑な受入れ、保存に努めます。書庫整備については長期的視野に立ち、計画的に取り組めます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄贈・移管資料として、9,642冊（うち市町村立図書館等1,689冊）を受け入れた <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、寄贈・移管された資料を効率的かつ迅速に受け入れるため、書庫や保管スペースを確保しておく必要がある。
<p>④長期保存対策の推進</p> <p>劣化が著しく代替資料がない郷土資料のデジタル化を、メディア工房支援ボランティアと連携しながら優先的に行います。また、再生機器の旧式化に伴い、永続的活用が困難と見込まれるカセットテープやVHSなどの郷土資料の媒体変換も優先的に行います。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期保存の優先度合いの高い資料について、著作権保護期間が過ぎて、利用頻度の高い資料を中心にデジタル化するとともに、デジタル岡山大百科へ登録し、利用に供した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な資料の長期保存と利用促進の観点から、引き続き、計画的にデジタル化を進める必要がある。
<p>【指標】 デジタル化した郷土資料点数：毎年度25点</p>	<p>【指標】 デジタル化した郷土資料点数：26点（R2：25点）</p>

評価

<p>新刊図書の購入冊数・率は、効率的な予算執行に努めたが、資料整備費の減額が影響し、24,390冊・35.8%となり、これまでの水準を維持することが困難となっている。県庁各課や市町村に刊行物の提供等呼びかけたことにより、自館で複製した郷土資料受入れ数は目標を大きく上回った。さらに、デジタル化した郷土資料点数も目標を達成した。</p>	<p style="text-align: center;">4</p> <p><達成レベル></p> <p>5：目標を大きく上回る 4：目標を上回る 3：概ね目標水準 2：目標を下回る 1：目標を大きく下回る</p>
--	--

<重点プログラム>

(1) 子ども読書プログラム

○子ども読書活動推進センター機能の充実

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①子どもの読書に関する調査・研究の支援の推進</p> <p>新刊児童図書の新刊児童図書の全点購入や児童図書研究書の積極的収集を継続し、第4次岡山県子ども読書活動推進計画に基づき子ども読書活動推進センター機能の一層の充実を図ります。また、子どもの読書に関わる方や関係機関に対して、新刊児童図書、児童サービスの実態や取組等に関する様々な情報を広報紙やホームページ等で提供します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊児童図書の全点購入や児童図書研究書の購入を継続し、充実した児童図書研究環境を提供することができた。 ・児童図書研究室内で中央教科書センター丸の内分館を運営し、通年、現行教科書の展示を行った。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた資料費の中で、新刊児童図書の全点購入や児童図書研究書の積極的収集を継続し、子ども読書活動推進センター機能を維持する必要がある。
<p>②子どもの読書に関わる研修・普及啓発活動の推進</p> <p>研修の形態は、講義のみならず、アンケートなどをもとにボランティアの声を反映させた事例発表、連絡会、交流会等の多様な形態を取り、その内容は実践的なものとします。また、読書ボランティア団体等の取り組みを引き続き支援します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館職員、学校図書館職員及びボランティアを対象として、タイムリーかつ参加者ニーズを踏まえたテーマにより各種研修会を開催するとともに、公共図書館等主催の研修講座に講師を派遣するなど、図書館関係者の資質向上に取り組んだ。 ・岡山県子どもの読書活動推進連絡会をオンラインで開催し、図書館、学校、ボランティア等関係者が連携・協働の下、種々の取組を推進する機会とした。 ・講師の意向や著作権の問題を考慮しつつ、可能な限りオンライン開催や事後の動画配信を行うなどし、感染対策と研修機会の確保を両立させることに努めた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの受講が困難なボランティア等に対する研修機会の確保について検討する必要がある。
<p>③子どもへのサービスの充実と郷土岡山を大切に育む心の育成</p> <p>資料の充実を図るとともに、読み聞かせ、ストーリーテリング等の行事を、児童サービス支援ボランティアと連携しながら行います。保護者の読書相談にも対応します。学校図書館と連携し、豊富な郷土情報に関するデジタルコンテンツの有効利用など、岡山県立図書館の魅力や活用方法を周知するとともに、ティーンズコーナーの運営や図書館見学を実施することにより、中高生の利用促進と不読率の解消を目指します。また、図書館の利用に特別な配慮を必要とする子どもの読書活動を支援します。さらに、子どもが郷土岡山を大切に思い、世界に視野を広げ、夢や目標を持ち、よりよい社会づくりに参画する心や態度を育成するために、多種多様な資料に触れる機会として企画展示等のサービスを充実させます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティーンズコーナーにおいて、高等学校等20校の参加による企画展示や「でーれーBOOKS」等学校図書館活動の取組を紹介するとともに、寄せられたメッセージをホームページ上で公開した。 ・おはなし会参加者を対象に、平成28年7月に開始した「岡山クイズ」を引き続き実施した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、7月末までのイベントをすべて中止したほか、再開後のイベント定員を半数にしているが、今後も参加者の安全を図りながらサービスを行う必要がある。

【指標】おはなし会参加人数（団体見学時の人数を含む。）：最終年度に 6,500 人以上	【指標】おはなし会参加人数（団体見学時の人数を含む。） 2,850人（R2：3,004人）
---	---

○学校図書館への支援

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>④学校図書館への支援の推進</p> <p>学校図書館担当職員（学校司書・司書教諭）等を対象とした専門的な研修を開催するとともに、こうした機会を通して、岡山県立図書館が行っている学校図書館支援について引き続き周知を図ります。また、学校等で開催される研修に、必要に応じて図書館職員を派遣します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館への協力貸出し（当館所蔵資料の貸出し）、学校図書館支援用図書貸出し（学校セット貸出し）は、令和2年度を下回ったものの、引き続き堅調に活用された。 学校図書館職員を対象として、タイムリーかつ参加者ニーズを踏まえたテーマにより各種研修会を開催するとともに、要請を受け講師を派遣し、資質向上を図った。 23市町村86小・中学校・高等学校に、自治体図書館を通じた資料搬送を試行的に実施した。 令和3年度に、学校図書館支援用図書（学校セット）を活用した巡回展示を試行的に行い、5校で実施した。また、試行の開始から3年が経過し、事業の有用性が確認できたため、令和4年度から本格実施とした。
【指標】学校図書館への協力貸出冊数：毎年度 35,000冊以上	【指標】学校図書館への協力貸出冊数：31,491冊（R2：35,370冊）
<p>⑤学校図書館との協力体制の構築</p> <p>岡山県立図書館は子ども読書活動推進センターとして、学校図書館協議会等と連携協力しながら、主体的・対話的で深い学びや「夢育」等が効果的に実施できるよう、学校図書館への支援を充実していきます。また、公共図書館と地域の学校図書館等とのネットワークの構築についても情報収集を行い、市町村に対し情報提供に努めます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館との連携・協力を図るため、岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会に参加し、助言等を行った。また、岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会司書部会に参加し、学校図書館支援用図書や学校図書館システムなどの利用促進に関する周知を行った。 巡回相談を通じて、地域の公共図書館と学校図書館等との間のネットワークの状況を把握するとともに、情報提供を行った。

評価

<p>新刊児童図書の全点収集など調査研究のための環境整備とともに、読み聞かせ等子どもへのサービスの充実を図った。おはなし会参加人数については、部分休館やイベントを中止・縮小したため目標達成することができなかった。また、学校図書館への協力貸出冊数も目標を下回っており、今後一層、学校と連携した取組が必要である。</p>	<p>2</p> <p><達成レベル></p> <p>5：目標を大きく上回る</p> <p>4：目標を上回る</p> <p>3：概ね目標水準</p> <p>2：目標を下回る</p> <p>1：目標を大きく下回る</p>
--	---

(2) 図書館資源の活用促進プログラム

○図書館資源のアクセシビリティ向上

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>①電子書籍サービスの導入(再掲)</p> <p>電子書籍サービスの導入については、公共図書館向けコンテンツ数の不足や費用において課題はあるものの、情報端末の普及や教育の情報化、読書バリアフリー法の施行、さらには新型コロナ等感染症対策など外部環境が大きく変化してきており、導入に向けて収集基準の見直しなど具体的方策を検討します。</p>	<p>[主な成果] (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子書籍サービスに関して国内の導入状況や近隣各県の導入後の利用状況等について情報収集を行った。 タブレット端末の利用補助等のために7月から情報サービス支援ボランティアの活動として「情報コンシェルジュ」をスタートした。 情報サービス支援ボランティアによる情報活用支援講座として「タブレット入門」など3回開催した。 <p>[課題] (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 依然として公共図書館向けコンテンツ数の不足や費用などが課題であり、環境の変化を注意深く見極めつつ、引き続き検討していく必要がある。 タブレット端末に不慣れな方への支援は引き続き必要である。
<p>②ユニバーサルデザインの視点に立ったサービスの推進(再掲)</p> <p>誰にでも使いやすいように蔵書検索システムの機能の充実を図ります。またウェブアクセシビリティ規格に配慮し、ウェブコンテンツの更なる改善を進めます。</p> <p>障害のある方の読書環境の整備を目指した「読書バリアフリー法」の理念を踏まえ、対面朗読のオンライン化について検討します。また、障害者サービス等において県内公共図書館や関係機関との連携の一層の強化を進め、全県的に効果的なサービス展開を図ります。</p> <p>多文化サービスについては、利用者ニーズの把握に努め、利用を促進します。</p>	<p>[主な成果] (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当館所蔵資料に加え、録音図書などを提供するネットワーク「サビエ図書館」を活用した資料提供を行った。 感染症対策を行った上で、対面朗読サービスを提供した。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記臨時休館、部分休館時に、対面朗読サービスの提供を停止した。 特別支援学校の教員が見学の下見に来館された際に、障害者サービスや県立図書館の利用方法を説明した。 「読書バリアフリー法」の理念を踏まえ、「岡山県読書バリアフリー計画」の策定において、全県的に効果的なサービス展開を目指し、県内の関係機関とともに内容を検討した。 <p>[課題] (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰にでも使いやすい利用環境の改善とともに、各種サービスを有効に活用いただけるよう周知に努める。
<p>【指標】 障害者向け資料貸出冊数最終年度に6,000冊以上</p>	<p>【指標】 障害者向け資料貸出冊数：5,036冊 (R2：5,608冊)</p>
<p>③郷土情報ネットワークの充実と利用促進(再掲)</p> <p>郷土情報募集事業や関係機関との連携強化等を通して、価値ある郷土情報の蓄積に努め、活用方法を広報します。デジタル化に当たってはメディア工房支援ボランティアと協働で進めます。デジタルコンテンツの活用には、広く一般の方に利用されるようオープンデータ化を検討します。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「岡山繁昌記 初編」、「山陽新報発行広告」など、当館のみが所蔵する郷土資料を中心にデジタル化し、26点を「郷土情報ネットワーク」に登録した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツのオープン化については、利用者の利便性等を考慮し、早期に検討していく必要がある。 デジタル岡山大百科について国内の、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるジャパンサーチへの接続を早期に進める必要がある。
<p>【指標】 デジタル化した郷土資料点数：毎年度25点</p>	<p>【指標】 デジタル化した郷土資料点数(再掲)：26点 (R2：25点)</p>

○地域課題の解決に役立つ資料・情報の提供

サービス目標と具体的取組	成果と課題
<p>④防災・減災に役立つ資料の収集保存と情報発信</p> <p>外部機関とも広く連携し、県民から寄せられた県内災害の記録を収集し「デジタル岡山 大百科」を活用した災害記録のアーカイブを進めます。また、県内自治体によるハザードマップ等の情報も広く収集し、併せて県民に提供していきます。防災・減災に役立つ資料の情報発信を積極的に進めていきます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内各地の災害記録、ハザードマップ、災害からの復興の歩みなど防災、減災につながる郷土資料を幅広く収集した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに改訂されたハザードマップなど、県内各地の災害、防災関連資料の刊行情報について、作成状況を把握し、収集を行う必要がある。
<p>⑤身近な課題解決支援の充実</p> <p>実用書から専門書までの幅広く豊富な蔵書やデータベースを活用して、専門的な知識と経験を備えた職員によるレファレンスを行い、関係機関とも連携しながら、健康医療や子育て、行政支援など、利用者の身近な課題の解決を支援し、県民の暮らしや仕事に一層役立つ図書館となるよう取り組みます。また、こうした図書館機能の情報発信を積極的に行い、多くの県民に利用していただけるよう努めます。</p>	<p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て本マップを改訂し、子育て支援関連資料の活用を図った。県庁職員向けポータルサイトを設置し、行政支援サービスの広報を行った。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館の活用が課題解決につながった事例をアンケートで募集するなど、より具体的な活用法を効果的に情報発信していくことが重要と考えられる。

評価

<p>来館者の減少が影響し、障害者向け資料貸出冊数は目標を下回った。利用促進に向け、障害者サービスのさらなる周知が必要である。また、デジタル化した郷土資料点数は目標を達成した。</p>	<p style="text-align: center;">3</p> <p><達成レベル></p> <p>5：目標を大きく上回る 4：目標を上回る 3：概ね目標水準 2：目標を下回る 1：目標を大きく下回る</p>
--	---

第4次中期サービス目標のサービス指標一覧

指標名		現況値 (H28～R元の平均値)	R7年度末 目標値(a)	令和3年度実績 (b)	達成率 (b)/(a)	評価
県民に開かれた図書館	○来館者数	—	—	706,013人	—	4
	○個人貸出冊数	—	—	1,102,003冊	—	
	○登録者数	—	—	292,267人	—	
	○登録率(県人口比)	—	—	15.4人	—	
	○来館者アンケート利用者満足度	—	—	94.5%	—	
	①インターネット予約貸出比率	12.9%	毎年度個人貸出冊数の15%以上	24.9%	165.9%	
	②ツイッターフォロワー数	1,562人 (R2.6現在)	最終年度に3,000人	2,311人	77.0%	
県域の中核	○協力レファレンス件数	—	—	979件	—	3
	③県内公共図書館への協力貸出冊数	36,548冊	最終年度に40,000冊以上	31,937冊	79.8%	
	④巡回相談実施延件数	71件	毎年度75件以上	73件	97.3%	
調査・研究	○レファレンス件数	—	—	77,074件	—	3
	⑤レファレンス事例の公開件数	207件	毎年度180件以上	180件	100.0%	
	⑥ホームページ上で公開したブックリストの作成件数	128件	毎年度150件以上	138件	92.0%	
デジタルネットワーク	⑦外部から導入して提供するデータベースサービス等の利用者数	1,422人	毎年度1,800人以上	936人	52.0%	3
	⑧サピエ図書館データのダウンロード点数	5,024点	最終年度に5,000点以上	4,694点	93.9%	
資料保存	○新刊図書の購入冊数	—	—	22,811冊	—	4
	⑨自館で複製した郷土資料受入れ数	68点	毎年度50点以上	228点	456.0%	
	⑩デジタル化した郷土資料点数	23点	毎年度25点	26点	104.0%	
子ども読書	⑪おはなし会参加人数(団体見学時の人数を含む。)	6,429人	最終年度に6,500人以上	2,850人	43.8%	2
	⑫学校図書館への協力貸出冊数	34,405冊	毎年度35,000冊以上	31,491冊	90.0%	
図書館資源	⑬障害者向け資料貸出冊数	5,873冊	最終年度に6,000冊以上	5,036冊	83.9%	3
	⑭デジタル化した郷土資料点数(再掲)	23点	毎年度25点	26点	104.0%	

○基本指標(太字)は、絶えず取り組むべき基本事項と位置付け、数値指標は設定していない。

総合評価

<p>第4次中期サービス目標の初年度に当たる令和3年度は、令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制約があったが、感染症対策をしながらサービスに積極的に取り組んだ。⑦外部から導入して提供するデータベースサービス等の利用者数や⑪おはなし会参加人数の指標については、感染症の影響を受けて目標を下回った。一方で、⑨自館で複製した郷土資料受入れ数や①インターネット予約の貸出比率などの項目において目標を上回った。</p> <p>今後、コロナ禍で遠のいた利用者呼び戻すとともに、新たな利用者を掘り起こすため、様々な図書館サービスの周知を図るとともに、創意工夫による積極的な取組により、第4次中期サービス目標の達成に向けて着実に推進していく。</p>	3
<p><達成レベル> 5: 目標を大きく上回る 4: 目標を上回る 3: 概ね目標水準 2: 目標を下回る 1: 目標を大きく下回る</p>	

令和3年度新型コロナウイルス感染症拡大防止に対する取組

① 岡山県の新型コロナウイルス感染症に対する取組

緊急事態措置	令和3年5月16日～令和3年5月31日
緊急事態措置	令和3年6月 1日～令和3年6月20日
まん延防止等重点措置	令和3年8月20日～令和3年8月26日
緊急事態措置	令和3年8月27日～令和3年9月12日
まん延防止等重点措置	令和3年9月13日～令和3年9月30日
まん延防止等重点措置	令和4年1月27日～令和4年2月20日
まん延防止等重点措置	令和4年2月21日～令和4年3月 6日

② ①の取組期間における岡山県立図書館の新型コロナウイルス感染症に対する取組

○開館状況

臨時休館	令和3年5月13日～5月31日（当初予定）→～6月20日（延長）
開館（一部サービス制限）	令和3年8月20日～9月12日（当初予定）→～8月26日（短縮）
部分休館	令和3年8月27日～9月12日（当初予定）→～9月30日（延長）
開館（一部サービス制限）	令和4年1月27日～2月20日（当初予定）→～3月 6日（延長） ※2月14日～2月18日は蔵書点検に伴い臨時休館

参考：令和2年度臨時休館 令和2年4月20日～5月18日

※完全臨時休館9日、予約受け取りのみ可能とした入館制限15日

○取組内容

【臨時休館（令和3年5月13日～6月20日）】

- ア 主な対応
- ・入館制限（入館可能エリア：貸出・返却カウンターのみ）
 - ・貸出は、予約資料のみ可能。
 - ・開館時間中も返却ポスト投入口を開放。
 - ・イベント、見学等の中止・延期
 - ・有料貸出施設の貸出中止
 - ・郵送貸出サービスの実施（6月8日～17日）
- イ 制限したサービス
- ・対面朗読サービス
 - ・閲覧席の利用、館内資料の閲覧、書庫出納
 - ・アクセスコーナー、AVコーナー、グループ研究室の利用
 - ・事前予約なしの複写サービス
 - ・カウンターでの資料予約、リクエストの受付
 - ・カウンターでの所蔵調査、レファレンスサービス
 - ・カウンターでの利用者登録
 - ・エントランスやカウンター付近での長時間滞在
 - ・Wi-Fiの利用

【開館（一部サービス制限）（令和3年8月20日～8月26日）】

- ア 主な対応
- ・ 閲覧席全席撤去
 - ・ イベント、見学等の中止・延期
 - ・ 有料貸出施設の貸出中止（キャンセル不可のもの除く）
 - ・ 郵送貸出サービスの実施（8月20日～26日）

- イ 制限したサービス
- ・ 閲覧席の利用
 - ・ AVコーナー、グループ研究室の利用
 - ・ インターネット用タブレットの利用
 - ・ 対面によるレファレンスサービスの長時間利用

【部分休館（令和3年8月27日～9月30日）】

- ア 主な対応
- ・ 入館制限（入館可能エリア：貸出・返却カウンターのみ）
 - ・ 貸出は、予約資料のみ可能。
 - ・ 開館時間中も返却ポスト投入口を開放。
 - ・ イベント、見学等の中止・延期
 - ・ 有料貸出施設の貸出中止（キャンセル不可のもの除く）
 - ・ 郵送貸出サービスの実施（8月27日～9月29日）

- イ 制限したサービス
- ・ カウンターでの利用者登録を除いて、部分休館（令和3年5月13日～6月20日）期間中に制限したサービス内容と同じ。

【開館（一部サービス制限）（令和4年1月27日～3月6日）】

- ア 主な対応
- ・ 閲覧席の削減（1/4まで）
 - ・ 赤ちゃんおはなし会とおはなし会の中止
 - ・ 郵送貸出サービスの実施（1月27日～3月3日）

- イ 制限したサービス
- ・ AVコーナーの利用（1人席のみ利用可能）
 - ・ グループ研究室の利用時間（2時間以内）

③ 通常開館中における岡山県立図書館の新型コロナウイルス感染症に対する取組

- ・ イベント・研修開催時の参加者名簿の作成を実施した。
- ・ 一部のイベント・研修について、オンライン開催及び配信を行った。
- ・ ②の取組期間のほか、6/26、6/27、10/2、10/3、3/12、3/13、3/19、3/20のおはなし会及び5/12、7/7、10/6の赤ちゃんおはなし会を中止した。
- ・ 閲覧席、アクセスコーナー、AVコーナーの席数削減
- ・ グループ研究室の利用人数の制限（1日1回4時間・5名程度まで）
- ・ 持ち込みパソコン用の電源の利用中止
- ・ 手指消毒用アルコール、フロアマーカー、仕切り板の設置
- ・ 館内空調やドアの開放による換気
- ・ 館内における接触頻度の多い箇所や機器等の定期的な消毒
- ・ 利用者への感染防止のための対策の呼びかけ
- ・ 職員のマスクの着用
- ・ 高速自動検温システムの設置